

最短コースでわかる機械学習

事前準備ガイド

はじめに

当コースでは、短い講義時間を有効に活用するため、実習に関しては必要な準備作業は受講生側で一通り済んでいる前提とさせていただきます。

本ガイドは、実習の事前準備として必要な手順をまとめたものとなります。

実習用PC

実習用PCの要件は次のとおりです。

《ノートPC》

OSはWindows / Macどちらでもかまいません。

《Webブラウザー》

Google Chrome / Firefox いずれかの最新バージョンをインストールしてください。

(IE, Edge では一部機能が動かない場合がありますのでご注意下さい)

《ネットワーク》

無線LANに接続可能なPCをお持ちください。無線LANでインターネットに直接接続可能なPCを使うことが前提になりますので、必ず事前にご確認ください。無線LANの環境は、会場で用意します。

IBM Cloud環境セットアップ

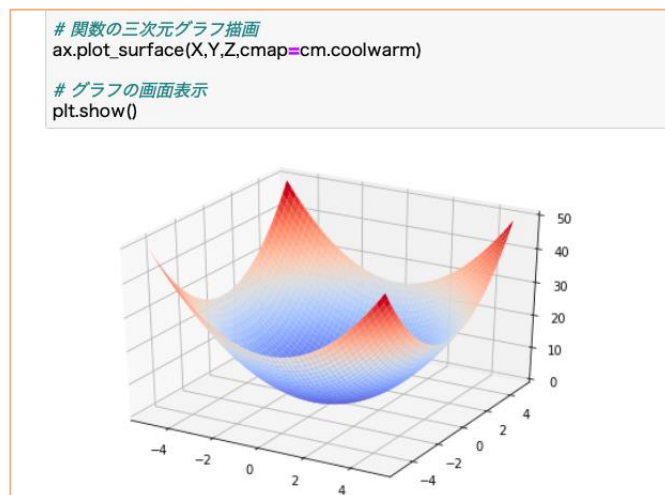
実習は、IBM Cloud上のWatson Studio上のサービスの一つであるJupyter Notebookを使って行います。

そのため、事前にIBM Cloudへのアカウント登録([クレジットカード登録無しで無期限で利用可](#))、インスタンスの作成、プロジェクトの作成などの作業をお願いします。

具体的手順は、下記リンク先を参照して下さい。

クラウドでお手軽Jupyter Notebook - IBM CloudでJupyter Notebookを使えるまでの手順 -

<https://qiita.com/makaishi2/items/3c95058bab17b22e10d6>

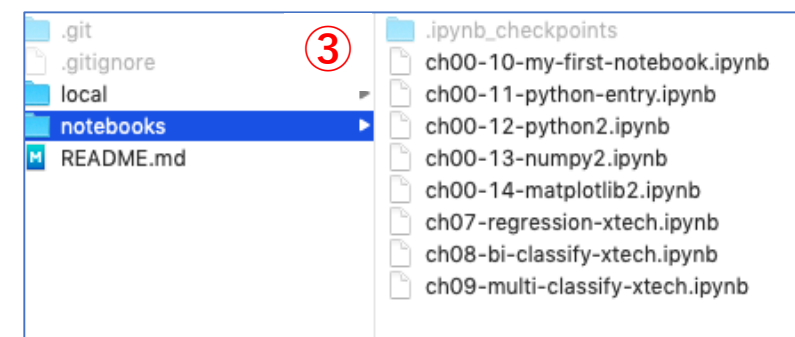
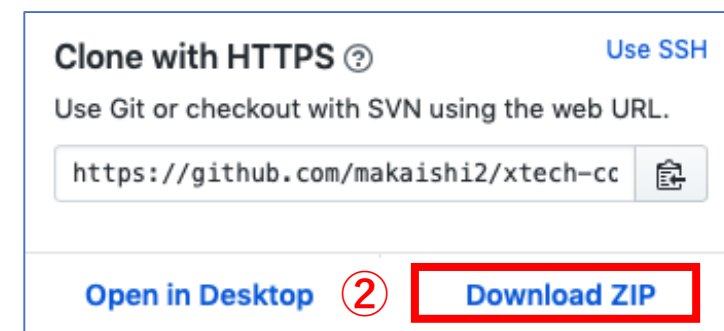
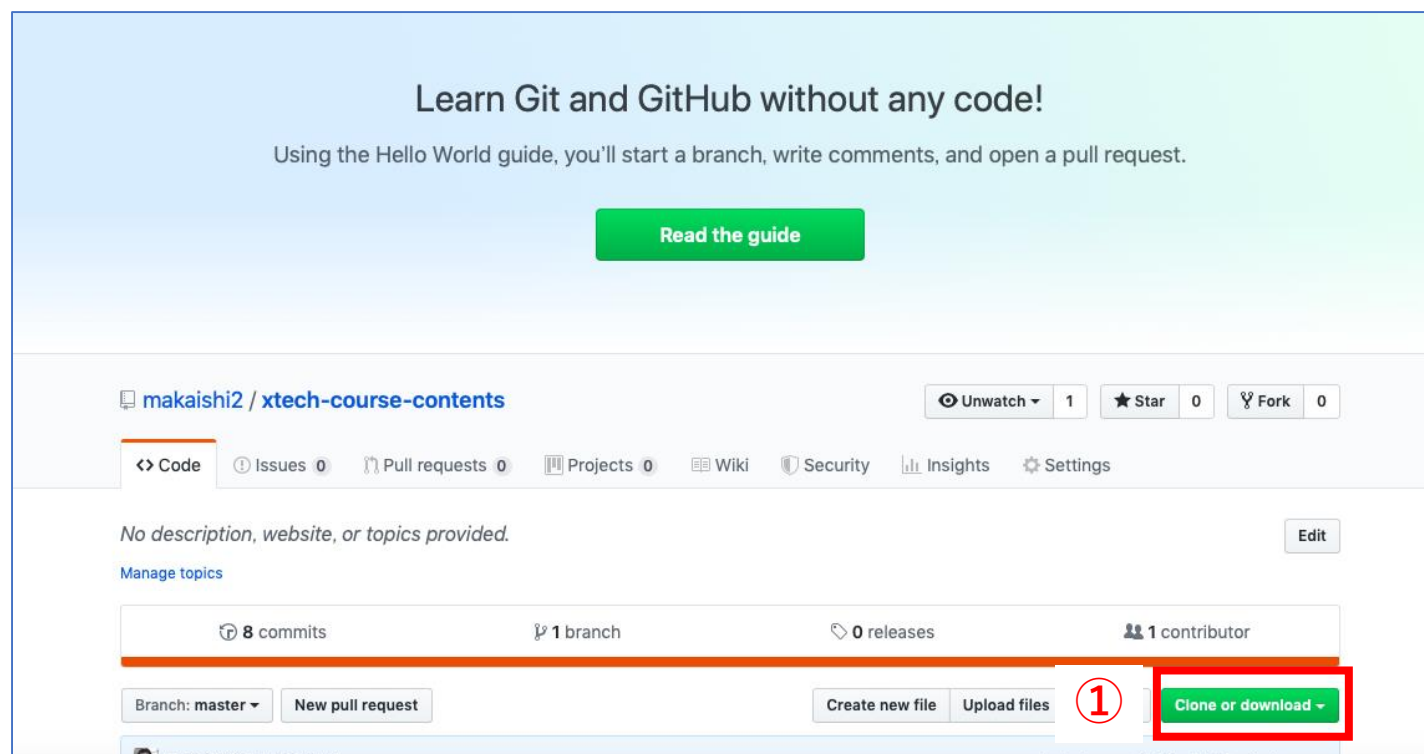


教材ダウンロード

以下のリンクから教材用Jupyter Notebookファイルを事前にダウンロードして下さい。

<https://github.com/makaishi2/xtech-course-contents>

- ① 左の画面から「**Clone or download**」のボタンをクリックします。
- ② 右のパネルが出たら、「**Download ZIP**」を選択します。
- ③ ダウンロードしたZIPファイルを解凍すると、講義で利用するNotebookファイルが取得できます。



Notebookファイル読み込み手順

Notebookファイルの読み込みに関しては、実習の冒頭で説明しますが、事前に一度試して手順に慣れていただくことをお勧めします。

下記のリンクをクリックして、Watson Studioのトップページを表示させます。

<https://dataplatform.cloud.ibm.com/projects/>

Project管理画面の表示

事前に作成した「**My First Project**」のリンクをクリックして下さい。
この画面にならない場合は次ページを参照して下さい。

IBM Watson Studio

My Projects

Which project are you looking for?

All My Projects

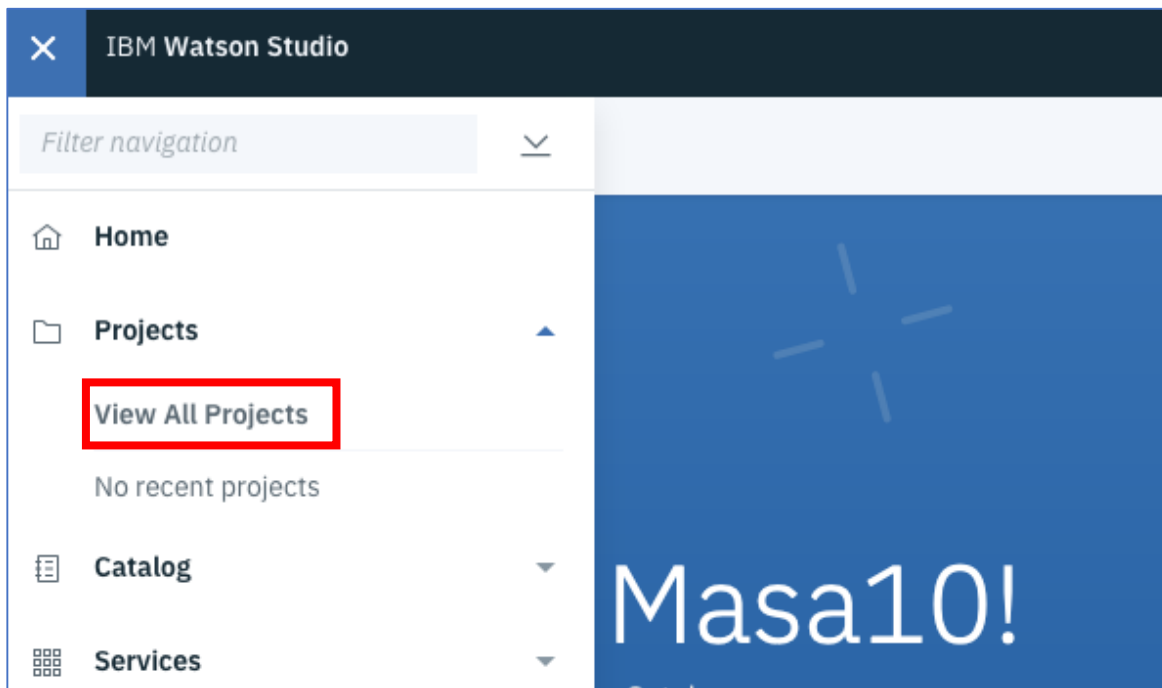
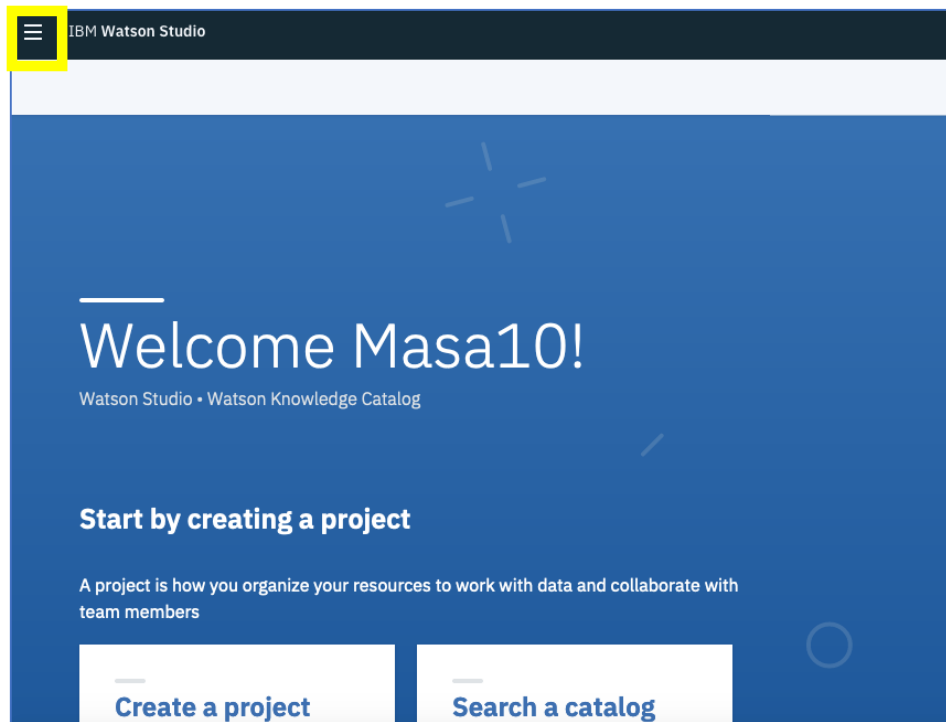
New project

NAME	ROLE	STORAGE	COLLABORATORS	CREATOR	DATE CREATED	ACTIONS
My First Project	Admin	COS	MA	Masanori Akaishi	24 Jun 2019	

Notebookファイル読み込み手順

左のような画面になった場合は、画面右上の「三」のアイコンをクリックします。

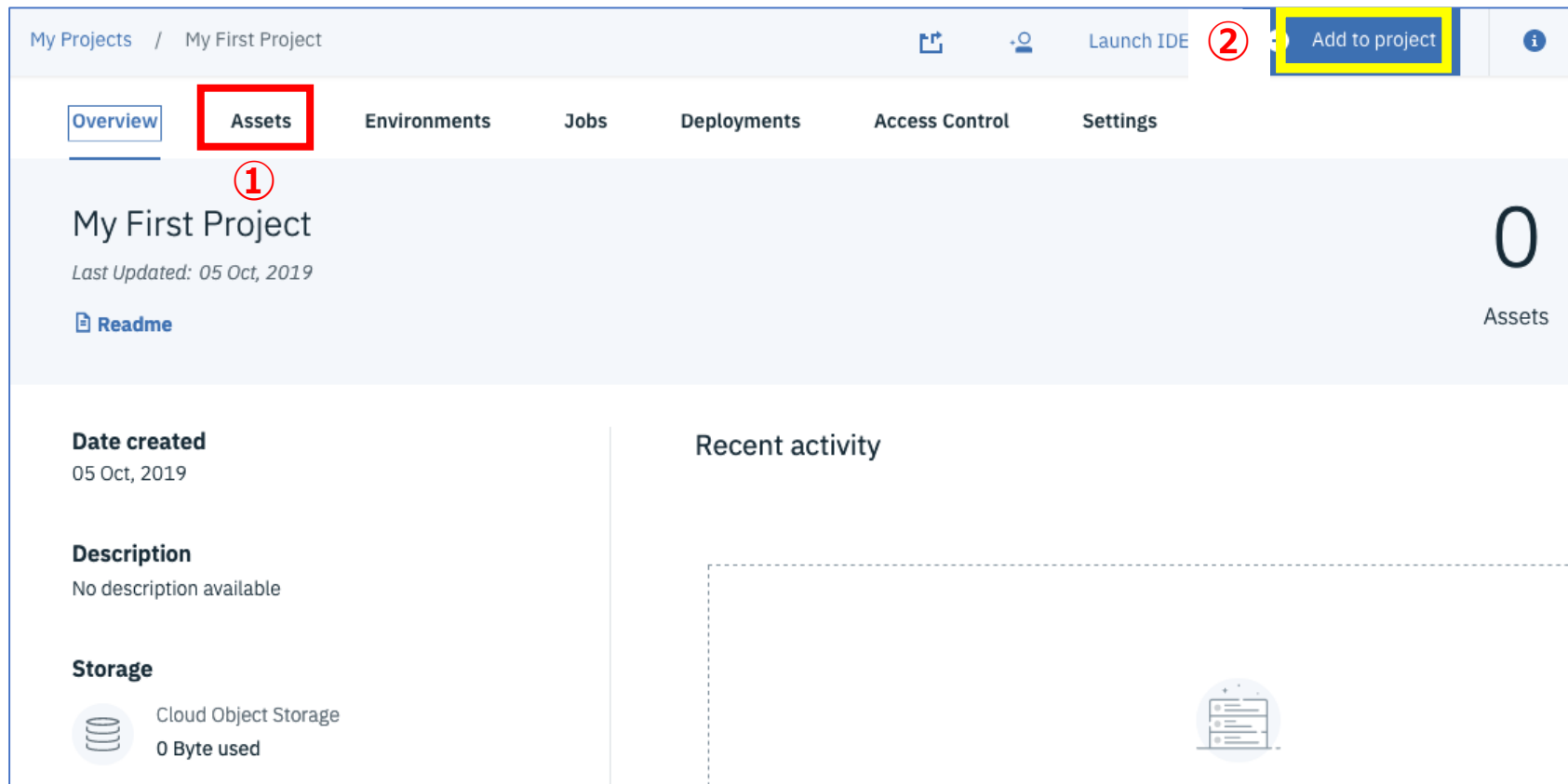
右のようなメニューが出るので、「View All Projects」をクリックすると、前のページのような、プロジェクト選択の画面になるはずです。



Notebookファイルの読み込み

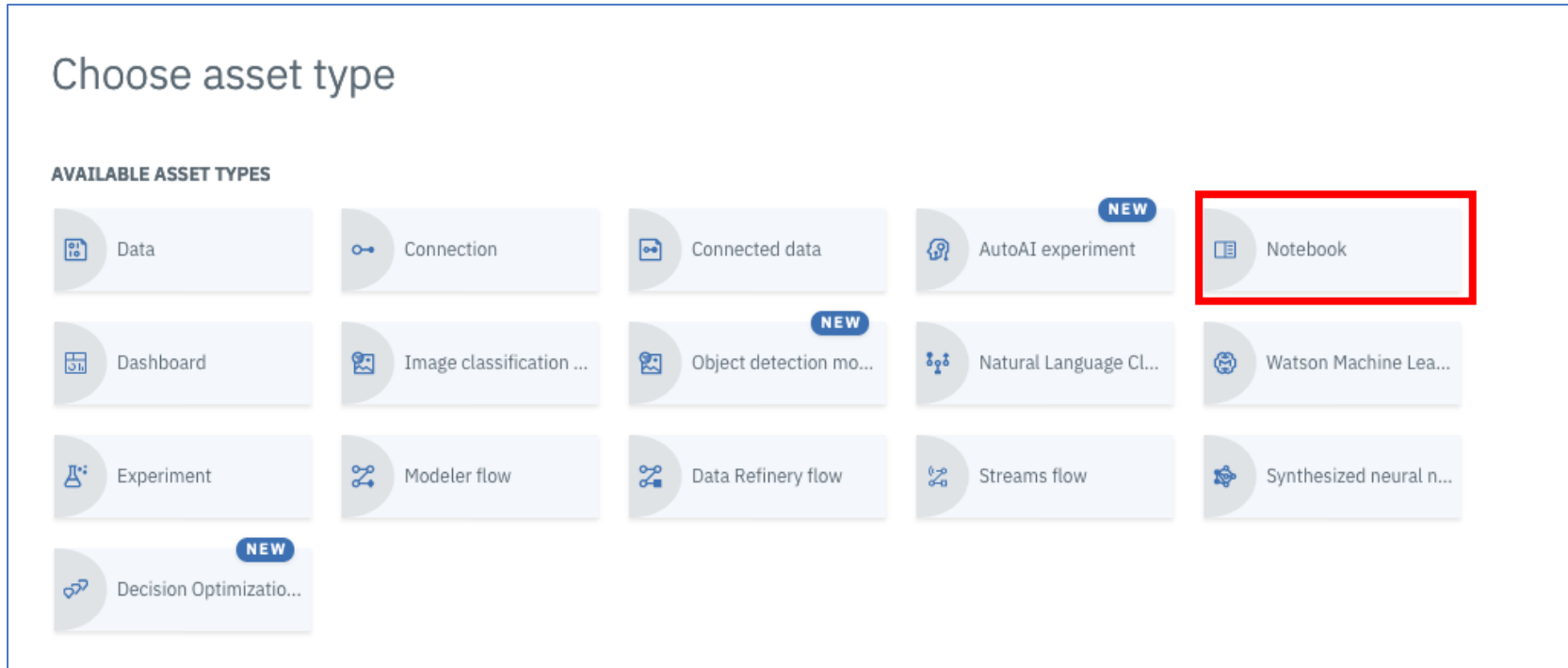
作成済みプロジェクトの読み込みに成功すると、下のようなプロジェクト管理の画面になります。

- ① 左から2つめの「**Asset**」タブをクリックします。読み込んだNotebookの一覧が表示されます。
- ② 更に画面上部右側の「**Add to project**」のリンクをクリックして下さい。



Notebookファイルの読み込み

下の画面になったら、「Notebook」を選択します。



Notebookファイルの読み込み

下の画面になったら

- ① **From File**タブ選択
- ② 「**ファイルを選択**」ボタンをクリックして読み込みたいNotebookファイルを指定します。
最初に読み込むnotebookは **10-my-first-notebook.ipynb** にして下さい。
- ③ 「Create Notebook」ボタンをクリック

New notebook

Blank **From file** From URL

Name ①

ch00-10-my-first-notebook
15 characters remaining

Description (optional)

Type your Description here
500 characters remaining

Select runtime

Default Python 3.6 XS (2 vCPU and 8 GB RAM)

The selected runtime has 2 vCPU and 8 GB RAM and consumes 1 capacity unit per hour.
[Learn more](#) about capacity unit hours and Watson Studio pricing plans.

Notebook file ①

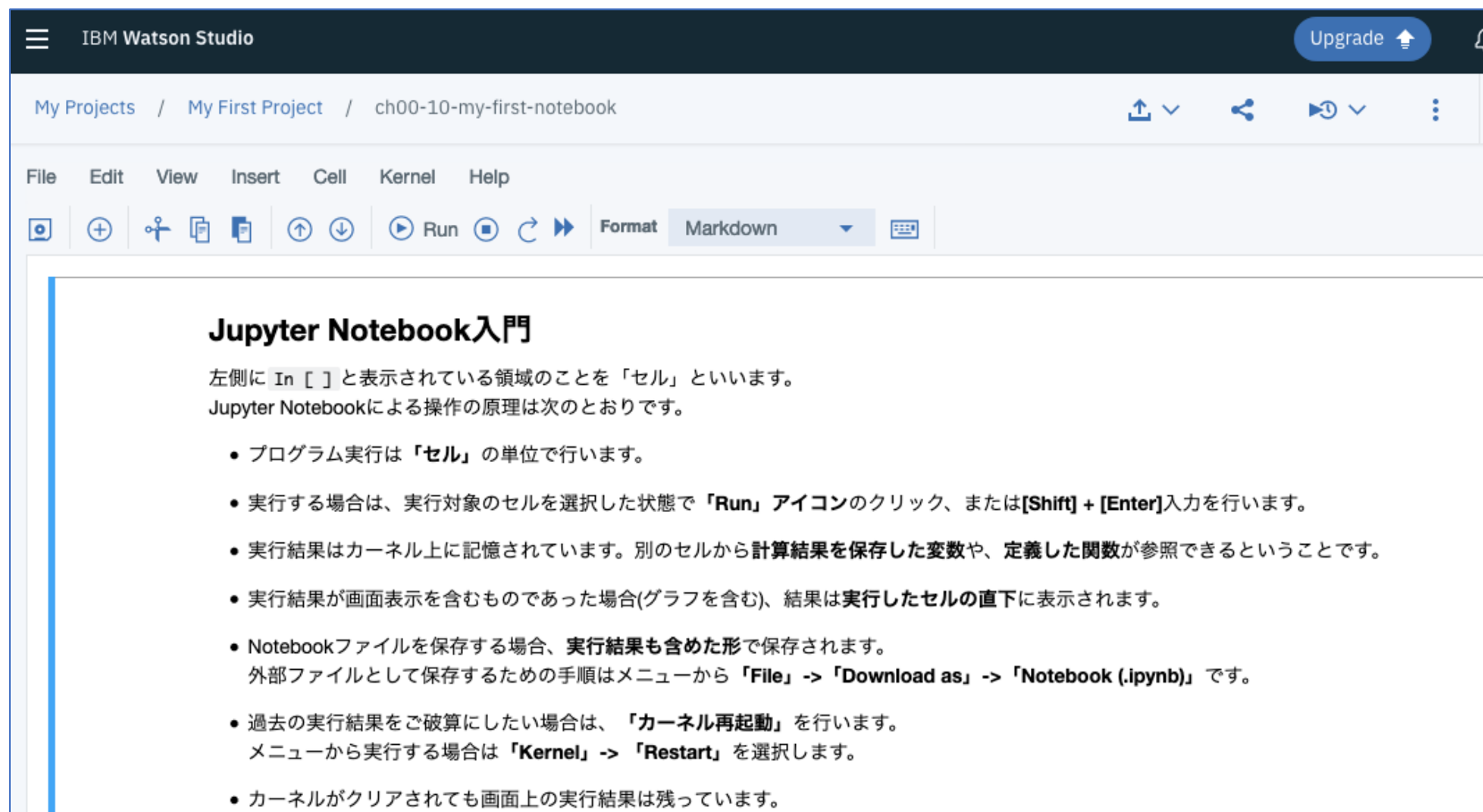
ch00-10-my-first-notebook.ipynb

Import a notebook file (.ipynb) from your local device.

Cancel Create Notebook

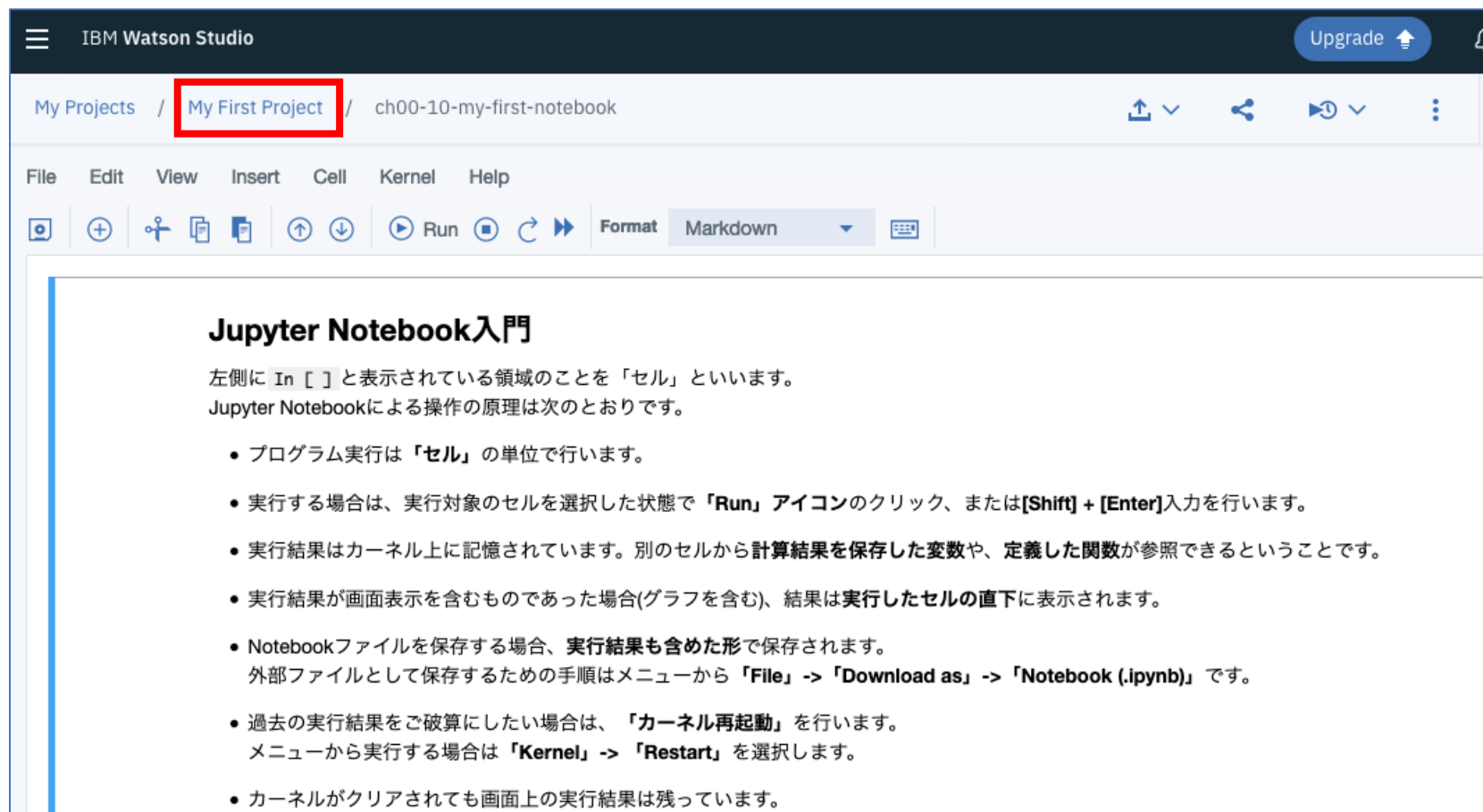
Notebookファイルの読み込み

下の画面になったら、Notebookの読み込みに成功しています。
ガイドに従って、操作方法に慣れてください。



Notebookファイルの終了方法

Notebookを終了したい場合は、赤枠で囲んだプロジェクト名のリンクをクリックします。



Notebook Read Only状態の解消方法

一度操作したNotebookを再度リストから読み込むと、図のようにRead Only状態でセルの修正や実行ができません。この場合、赤枠で囲んだ「編集」アイコンをクリックすることで、再度編集や実行が可能な状態に戻ります。

